



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5195 URL http://www.bandogrp.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 満隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林 一志 TEL 078-304-2516
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	68,286	3.8	4,714	12.2	5,224	4.2	3,947	3.9
29年3月期第3四半期	65,772	△7.4	4,200	△3.3	5,013	△0.6	3,797	0.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 5,952百万円 (45.5%) 29年3月期第3四半期 4,089百万円 (134.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	86.16	—
29年3月期第3四半期	82.74	—

(注) 当社は、平成28年10月1日付で、普通株式について2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	102,028	63,261	61.8	1,376.35
29年3月期	96,695	58,741	60.5	1,276.46

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 63,019百万円 29年3月期 58,520百万円

(注) 当社は、平成28年10月1日付で、普通株式について2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	14.00	—
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成28年10月1日付で、普通株式について2株につき1株の割合で株式併合を行っており、平成29年3月期の年間配当金の合計は「—」と記載しております。(当該株式併合を踏まえて換算した場合、平成29年3月期の年間配当金の合計は、1株につき26円)

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	3.0	6,000	1.8	6,600	0.4	4,900	△1.0	106.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
除外 1社 （社名） 東日本バンドー株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	47,213,536株	29年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,425,998株	29年3月期	1,367,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	45,813,288株	29年3月期3Q	45,903,081株

(注) 当社は、従業員持株E S O P信託および役員報酬B I P信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

当社は、平成28年10月1日付で、普通株式について2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数、期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国は自律的な景気回復局面にあり、欧州も引き続き緩やかな景気回復が持続いたしました。アジア地域の景気は総じて堅調に推移いたしました。中国は緩やかに減速し、日本は緩やかな回復基調が持続いたしました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、米国では、乗用車市場の低迷により自動車生産台数が減少し、欧州では、前年並みで推移いたしました。中国では、自動車生産台数が前年度を上回る状況で推移いたしました。韓国車の生産台数は大幅に減少いたしました。また、日本では、新型車の投入などにより生産台数が前年度を上回る状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”(未来への躍進)の第1ステージの最終年度として、自動車用、二輪車用、農業機械用および一般産業用の伝動ベルト、軽搬送用ベルトなどを主軸として、日本や中国、アセアンを中心に販拡活動を活発に展開いたしました。また、クリーンルーム等で問題となっている、落下塵の可視化を実現した異物検査ツール「BANDO DEC-20™」を開発いたしました。一方、収益力向上のため原価低減活動を徹底し、世界最適調達・生産・供給体制の構築によるグローバル競争力の強化などにも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高は682億8千6百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は47億1千4百万円(前年同期比12.2%増)、経常利益は52億2千4百万円(前年同期比4.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億4千7百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

事業(セグメント)別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、自動車生産台数は前年を上回る状況で推移し、補機駆動用伝動ベルト(リブエース®など)の販売が増加いたしました。顧客の海外現地調達化の影響などもあり、補機駆動用伝動システム製品(オートテンション、バンドススムスカップラー®など)の販売が減少いたしました。

海外においては、中国において主要顧客の生産台数の減少により販売が減少いたしました。アジア地域において積極的な顧客開拓に注力したことにより、補機駆動用伝動ベルト、補機駆動用伝動システム製品およびスクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。これにより海外では増収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は312億8千6百万円(前年同期比4.3%増)、セグメント利益は23億6千7百万円(前年同期比17.0%増)となりました。

[産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、中国において農業機械用伝動ベルトなどの販売が減少いたしました。アセアン地域、米国および欧州地域における販売強化により農業機械用伝動ベルトや産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。また、国内においては、民間設備投資需要が増加した影響を受け、産業機械用伝動ベルトおよびプーリの販売が増加し、全体では販売が増加いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内の石炭火力発電所向けなどの案件が減少し、コンベヤベルトの販売が減少いたしました。国内および中国において積極的な顧客開拓を進めたことにより、樹脂コンベヤベルト(サンライン®ベルト)の販売が伸びました。

これらの結果、当セグメントの売上高は241億6千5百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益は中国における農業機械用伝動ベルトの不振による影響が大きく15億8百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

[高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、従来製品の工業用および医療用フィルムの販売は減少いたしました。事業転換を進めている四輪車・二輪車用外装フィルムの販売が増加いたしました。

精密機能部品につきましては、主要顧客であるOA機器メーカーの増産により高機能ローラおよびブレードの販売が増加したことに加え、インクジェットプリンターおよび金融端末機器用精密ベルトなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は113億6千8百万円(前年同期比2.6%増)、セグメント利益は販売増に加え、販売構成の変化などにより2億6千2百万円(前年同期比46.7%増)となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業などを行っており、売上高は19億1千6百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント利益は新製品開発のための先行投資もあり2億3千2百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

上記の各セグメント別売上高およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、流動資産が41億4千5百万円増加し、固定資産が11億8千8百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ53億3千3百万円増加し、1,020億2千8百万円となりました。

負債は、流動負債が10億6千5百万円増加した一方、固定負債が2億5千2百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ8億1千3百万円増加し、387億6千7百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益等の計上により利益剰余金が26億円増加し、その他の包括利益累計額が19億7千4百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ45億2千万円増加し、632億6千1百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.5%から61.8%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想のとおりであります。

なお、業績予想について見直しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,522	20,843
受取手形及び売掛金	18,824	18,454
電子記録債権	1,788	2,929
商品及び製品	6,754	7,152
仕掛品	1,508	1,740
原材料及び貯蔵品	2,640	3,256
繰延税金資産	550	579
その他	1,250	2,026
貸倒引当金	△38	△37
流動資産合計	52,801	56,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,005	10,005
機械装置及び運搬具(純額)	9,965	9,594
土地	6,435	6,486
建設仮勘定	1,168	1,949
その他(純額)	1,562	1,525
有形固定資産合計	29,137	29,561
無形固定資産		
のれん	74	71
ソフトウェア	792	756
その他	681	607
無形固定資産合計	1,548	1,435
投資その他の資産		
投資有価証券	11,487	12,691
繰延税金資産	403	152
退職給付に係る資産	0	—
その他	1,464	1,387
貸倒引当金	△149	△145
投資その他の資産合計	13,207	14,085
固定資産合計	43,894	45,082
資産合計	96,695	102,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,259	9,881
電子記録債務	3,406	4,467
短期借入金	4,499	4,157
未払法人税等	1,064	584
関係会社整理損失引当金	9	13
その他	6,533	6,733
流動負債合計	24,773	25,838
固定負債		
長期借入金	4,913	4,802
社債	6,000	6,000
株式報酬引当金	29	47
退職給付に係る負債	2,006	1,748
その他	231	330
固定負債合計	13,181	12,929
負債合計	37,954	38,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	2,995	2,995
利益剰余金	45,922	48,523
自己株式	△1,356	△1,432
株主資本合計	58,513	61,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,060	2,739
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△1,643	△592
退職給付に係る調整累計額	△409	△165
その他の包括利益累計額合計	7	1,981
非支配株主持分	220	241
純資産合計	58,741	63,261
負債純資産合計	96,695	102,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	65,772	68,286
売上原価	45,968	47,628
売上総利益	19,803	20,657
販売費及び一般管理費	15,603	15,943
営業利益	4,200	4,714
営業外収益		
受取利息及び配当金	207	237
持分法による投資利益	408	362
その他	529	266
営業外収益合計	1,145	866
営業外費用		
支払利息	175	162
固定資産除却損	44	99
その他	112	94
営業外費用合計	332	356
経常利益	5,013	5,224
税金等調整前四半期純利益	5,013	5,224
法人税、住民税及び事業税	1,299	1,305
法人税等調整額	△104	△58
法人税等合計	1,194	1,246
四半期純利益	3,818	3,977
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,797	3,947

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	3,818	3,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	571	686
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△81	1,091
退職給付に係る調整額	318	244
持分法適用会社に対する持分相当額	△536	△46
その他の包括利益合計	271	1,974
四半期包括利益	4,089	5,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,062	5,921
非支配株主に係る四半期包括利益	27	30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

東日本バンドー株式会社は、平成29年4月1日の西日本バンドー株式会社との合併により消滅したため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

なお、西日本バンドー株式会社は、平成29年4月1日付でバンドー・I・C・S株式会社へ商号を変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車部品 事業	産業資材事 業	高機能エラ ストマー製 品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	29,936	23,381	10,994	64,312	1,459	65,772	—	65,772
セグメント間の内部 売上高または振替高	68	57	82	208	287	496	△496	—
計	30,005	23,438	11,077	64,521	1,747	66,268	△496	65,772
セグメント利益	2,022	1,516	178	3,718	306	4,024	175	4,200

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益の調整額175百万円には、セグメント間取引消去11百万円、全社費用164百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額および各報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車部品 事業	産業資材事 業	高機能エラ ストマー製 品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,222	24,100	11,340	66,663	1,623	68,286	—	68,286
セグメント間の内部 売上高または振替高	64	64	28	157	293	451	△451	—
計	31,286	24,165	11,368	66,821	1,916	68,737	△451	68,286
セグメント利益	2,367	1,508	262	4,138	232	4,370	343	4,714

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益の調整額343百万円には、セグメント間取引消去10百万円、全社費用333百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額および各報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

補足情報

〔海外売上高〕

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上高（百万円）	19,356	7,138	7,752	34,246
II 連結売上高（百万円）				68,286
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	28.3	10.5	11.4	50.2

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上高であります。
2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。
- (1) 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
- (2) 各区分に属する主な国または地域
- アジア……………タイ、韓国、インド、インドネシア、ベトナムほか
- 中国……………中国、香港
- 欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか